



株式会社日本トリム

NIHON TRIM CO.,LTD.

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月  
単元株式数 50株  
株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社  
同事務取扱場所 東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社 本店  
同事務取扱所 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
証券代行事務センター (〒168-0063)  
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)  
同 取 次 所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店  
日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店  
公 告 方 法 電子公告とし、当社のホームページ  
(<http://www.nihon-trim.co.jp>)  
に掲載いたします。  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって  
電子公告による公告をすることができない場合  
の公告方法は日本経済新聞に掲載する方法と  
いたします。

NIHON TRIM CO.,LTD.

## 第27期 中間報告書

[平成20年4月1日～平成20年9月30日]

# 21世紀は「水」の時代。

水資源の「量の争奪戦」と共に「質の競争」の時代へ

I. 質の競争の時代に向け、産学・産病共同研究により、水の機能(質)を追求

II. 科学的エビデンスのもと、世界市場へ向けたグループビジネスの拡充

- ① 医療・予防医療分野への進出
- ② 日本トリム整水器の各ご家庭への普及(目標:世界普及率20%)
- ③ ボトリング事業のグローバル展開



## 短期的業績向上への取り組み

21世紀は「水の時代」。水は「量」と共に「質」が問われる時代がやってきます。当社では、質の競争の時代に向け、水の機能(質)を追求してまいりました。一方、景気が低迷し、将来への不安が高まる今、人々の志向は益々健康へと向かいます。「機能のある水」及び「健康」をテーマとする当社にとって、**今が正に商機**です。足元業績の回復及び経営効率の改善に向け、社内体制の再構築及び販路拡大、新規開拓に取り組んでおります。本年4月より、健康保険組合に対して、特定健診、保健指導が義務化された

ことを受け、**メタボ対策**として大手健康保険組合での当社電解還元水導入事例が出てきており、更なる拡販に向けて取り組んでまいります。岩谷産業株式会社との事業提携では、本年7月より、東北地域で販売開始し、地域目標を達成しました。この成功事例のもと、当初計画達成を目指し、精力的に展開中です。また、販路拡大を目的に資本提携も視野に入れたアライアンスや新たな販売チャネル構築への取り組み、その他カートリッジ販売効率向上への対策や広告宣伝、Web対策等も実施してまいります。

## 中長期的視野に立った研究開発

当社の目指す**医療・予防医療分野**への本格的参入及びボトリングビジネスのグローバル展開を目指し、中長期的視野に立った研究開発、新規事業への積極投資も推進しております。東北大学大学院医学系研究科との**血液透析**への応用に関する研究は、順調に進捗し、更に国内3病院とも共同研究を開始いたしました。**電解還元水血液透析**は患者の方々の身体的負担軽減や社会復帰促進への期待が大きく、本格的な事業展開に向け、来年秋頃の血液透析用機器

の発売を目指し、精力的に展開中です。メチルグリオキサール(MG)等のブドウ糖酸化分解物の研究及び測定を行う株式会社トリムメディカルインスティテュートでは、本年11月に開催された米国腎臓学会にて、電解還元水のMG抑制効果についての研究成果を発表いたしました。これらの研究成果が確認できれば、医学会にも大きなインパクトを与える研究であり、将来の当社の機軸ビジネスになるものと大いに期待しております。

～以下 本文掲載～



経済産業省所管団体「社団法人 民間活力開発機構」の機関誌「Innovation Courier (イノベーション・クーリエ)」創刊号で当社の研究内容が紹介されました。

経済産業省所管団体「社団法人 民間活力開発機構」(東京都中央区銀座)の機関誌「Innovation Courier(イノベーション・クーリエ)」創刊号に当社研究内容の記事が掲載されました(16、17ページに掲載)。当誌は、社団法人 民間活力開発機構が民間活力を核に産学官連携での新規事業の創出を推進することを目的に、「イノベーション・クーリエ」事業の一環として創刊した雑誌です。

「社団法人 民間活力開発機構」の概要

設立年月日: 昭和62年7月7日  
 設立許可: 経済産業大臣  
 設立の趣旨: 社団法人 民間活力開発機構(略称:民活機構)は、地域産業の活性化に貢献することを目的に、大手専門企業と地元企業の連携による「民活ソフト」事業を企画し推進する。「民活ソフト」事業とは、集客・商圏・販路拡大などのマーケット開発を主軸とした支援事業を言う。

電解機能水の新たな可能性にチャレンジ

～飲用から医療へ。新規事業の創出を目指して～

人工透析導入患者数は、現在国内で約25万人。予備群は一説では約2,000万人といわれる。人工透析液は、透析効果をいつも一定にするため毎分400～500mlの量が必要である。通常はこの原液を水道水で20～40倍に薄めて使用する。この水道水とは違い、日本初の技術で水中に水素を含む機能を持った「医療用水」に取り組んでいる企業がある。大阪市に本社がある株式会社日本トリムだ。

同社は整水器の製造と販売を主な事業とし、製品のブランド力向上と臨床データの集積、電解還元水の医療分野における研究開発を目的としている。電気分解によって得られる、抗酸化性(還元性)を持った水「電解還元水」の探求を通して、医療分野での「水」利用への応用が研究開発の目的だ。

人工透析への応用を足掛りにして、メタボリック症候群や糖尿病対策等の予防医療への活用に向け、内外の大学や研究機関、医療機関などと「産・学の共同研究」を精力的に展開しながら、水に関わる新規事業の創出を目指す。(株)日本トリムの多角的な研究の中から数例を紹介する。

①体内の活性酸素の除去

酸素の一種できわめて酸化力の強い活性酸素(注1)ができ過ぎると人体に対して害を及ぼす。九州大学との共同研究では、この活性酸素を除去する物質として、電解還元水に含まれる原子状水素「活性水素」に着眼し、これによるDNAの酸化損傷保護作用などを確認した。

同時に電解還元水のスーパーオキシドディスムターゼ(SOD)(注2)様活性は、長期間安定し、その作用は失われないことが確認された。また、活性酸素種の除去を確認している。\*

②血液透析への応用

台湾大学医学院との電解還元水の“血液透析への応用”に関する共同研究では、透析時における血中活性酸素上昇の低下の確認ができ、血液透析時における赤血球等の機能低下の軽減が確認された。さらに血液透析における免疫低下に対する改善の効果が確認された。

### ③血中糖分解代謝物の動向調査

東北大学との研究では、電解還元水の飲用による血中の糖分解代謝物の動向を計測した際、糖代謝時に産生されるメチルグリオキサール(MG)<sup>(注3)</sup>が疾病の症状に応じて増減した結果をうけて、本物質を“血液透析や合併症におけるリスクファクター”としての確認臨床実験系を作成しているところである。さらに、高血糖による末梢血管の梗塞予防にも期待が持てることから、電解水透析前後における末端組織の温度をサーモグラフィで測定し、その影響を調査中である。

### ④癌患者の血糖管理

高知大学とは、“電解還元水を飲用した癌手術中の血糖管理と感染制御への効果”の研究により、血糖調整の不全からくる諸疾病の併発抑制が期待できる。この臨床結果に有意性が確認できれば、外科医学会に大きな波紋を起こすことになる。

### ⑤メタボリック症候群対策

北野病院との研究では、メタボリック症候群の抑制または防止対策として、“電解還元水飲用による血糖値もしくは中性脂肪の動向”に関するパイロットスタディを実施しており、今後の課題はエビデンスレベルの高い臨床研究の推進である。

このように(株)日本トリムでは、健康の維持増進、病気の予防から、具体的疾病の治療に至るまでの広範な機能をもつ水づくりに取り組んでいる。そして、将来的には人工透析をはじめ、点滴用の輸液、点眼液、手術の際の臓器保存液なども視野にいれ、新しい可能性に挑んでいる。今までの臨床データにより、近い将来これらの患者さんに役立つ「水」ができることを期待したい。

※ 米国科学ジャーナル『Biochemical and Biophysical Research Communications(BBRC)』(1997)論文発表  
「Electrolyzed-Reduced Water Scavenges Active Oxygen Species and DNA from Oxidative Damage (電解還元水の活性酸素種の消去及びDNAの酸化損傷からの保護作用)」

(注1) **活性酸素** 酸素が化学的に活性を帯びた状態。酸化力が強く細胞やDNA等に損傷を与え、機能低下や機能不全を引き起こす。また老化の原因物質とも言われている。主なものにスーパーオキシドアニオンラジカル、過酸化水素、ヒドロキシラジカル、一重項酸素等がある。一方、感染した細菌やウイルスを殺す際にも免疫細胞から生成され有効利用される一面もある。

(注2) **スーパーオキシドディスムターゼ(SOD)** 体内で過剰となった活性酸素を取り除き、無毒化してくれる酵素。体内で作られるSODの量には個人差があり、例えば同じように紫外線を浴びても、しみやソバカスがしやすい人とできにくい人がいる。それは、紫外線によってできた活性酸素を除去するSODの量に差があるからである。

(注3) **メチルグリオキサール(MG)** メチルグリオキサールは、糖分解代謝の過程で、体内で生成される反応性に富む小分子物質であり、蛋白質やDNAと反応し生体分子の障害に関わっていると、糖尿病や腎臓病、合併症において研究されてきている。しかしその測定値は不安定であることから、信頼性の高い測定方法に基づいた臨床研究が期待されている。

### ■「電解還元水」の研究成果

1 オランダ学術誌『Cytotechnology(サイトテクノロジー)』(2003.6)論文発表

「“抗糖尿病”に関する研究成果」

2 オランダ学術誌『Cytotechnology(サイトテクノロジー)』(2005.1)論文発表

「“抗細胞形質転換”に関する研究成果」

3 米国医学誌『Kidney International(キドニーインターナショナル)』(2003.7)論文発表

「“酸化ストレスの軽減”に関する研究成果」

4 米国医学誌『Kidney International(キドニーインターナショナル)』(2006.7)論文発表

「“赤血球機能低下の抑制”に関する研究成果」



創刊号の「環境イノベーションへのチャレンジ」という特集の中で、「電解機能水の新たな可能性にチャレンジ ～飲用から医療へ。新規事業の創出を目指して～」というテーマで、当社のこれまでの「水」に対する科学的な取り組みが紹介されています。

#### ■ Innovation(イノベーション)の意味:

新しい技術の発明だけではなく、新しいアイデアから社会的意義のある新たな価値を創造し、社会的に大きな変化をもたらす自発的な人・組織・社会の幅広い変革。それまでのモノ、仕組みなどに対して、全く新しい技術や考え方を取り入れて新たな価値を生み出し、社会的に大きな変化を起こすことを指す。

#### ■ Courier(クーリエ)の意味: 案内、新報

「トリムカップレディースフットサル大会」が全国大会に!

当社がオフィシャルスポンサーを務め、2006年から開催されている「トリムカップレディースフットサル大会」(西日本の女子選抜チーム対象)が、来年2009年開催予定の大会より日本フットサル連盟主催「トリムカップ全国女子選抜フットサル大会」として全国大会へと昇格することになりました。同大会は、「全日本女子選手権」に続く二つ目の全国規模の公式大会となり、女子フットサル強化・普及への一助になると共に、将来的には世界大会にまで拡大することを目標としています。今後とも、「トリムカップレディースフットサル大会」に熱いご声援をお願い致します。



(左から) 当社社長 森澤、日本フットサル連盟 大仁会長、高知県サッカー協会 水田会長、成田名誉会長

ホームページからの情報発信を更に充実!!



ホームページ内にトリムタウンを設置!『知る・楽しむトリムウォーター』と題し、整水器や電解還元水のことをキャラクターを使って解りやすく紹介。還元水の使い方や、水の豆知識・ユーザーズVOICE等、水にまつわる様々な情報発信源として、電解還元水の更なるイメージアップ・トリムブランド向上を図ってまいります。

「I' m fine」がANAプレミアムクラスの機内サービスに採用!

平成20年8月7日(木)より、ANAプレミアムクラスの一部国内線機内サービスとして、カラダ還元ウォーター「I' m fine」(ANA特別仕様350mlサイズ)が採用されました!8月は那覇-宮古間の1723便及び1724便に搭載され、順次、搭載路線が拡大される予定です。(当初はボーイング737-700のプレミアムクラス設定便の一部に搭載。\*機材及びサービス内容は運航状況等により変更となる場合があります。)



医学誌Vascular Medicine(バスキュラー メディシン)にて新研究論文発表!

当社グループ会社、株式会社トリム メディカル インスティテュート(宮城県仙台市)にて測定・研究を行っている“メチルグリオキサール”に関する論文(タイトル:心腎連関におけるメチルグリオキサールの関与を探る)が平成20年10月医学誌「Vascular Medicine (バスキュラー・メディシン)」に掲載されました!

メチルグリオキサールとは、慢性腎臓病や生活習慣病に大きく関与している物質として着目されており、現在、株式会社トリムメディカル インスティテュートにてそれらの関与に関する実証及びメチルグリオキサールに対する還元水の効果について検証しています。

心腎連関におけるメチルグリオキサールの関与を探る

慢性腎臓病(CKD)が心血管イベントの独立危険因子であることが明らかにされてきた。一方、末期腎不全患者激増の背景には生活習慣病が大きくかかわっていることが示されている。したがって、CKD患者の心腎連関の根本には、生活習慣病と共通する要因がかかわっている可能性が想定される。筆者らは、この条件を満たす因子の一つとして、生体内の糖代謝・分解過程で生成される毒性物質であるメチルグリオキサール(MG)に注目している。CKD患者の血中MG濃度は上昇しているが、このMGは内因性の過酸化水素との相互作用により血管内皮細胞などで酸化的傷害を惹起することが報告されている。一方、CKDに特有の尿毒症性心筋症の基本的病態として冠動脈微小血管の拡張障害が存在することが示されているが、この機序には細動脈の拡張反応因子である内因性過酸化水素の作用障害が関与している可能性がある。以上より、CKD患者ではMGにより冠動脈の微小循環調節が阻害され、これが、心筋の虚血や線維化を促進する一因となる可能性が想定される。

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当中間期末 平成20年9月30日現在	前期末 平成20年3月31日現在		当中間期末 平成20年9月30日現在	前期末 平成20年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
流動資産	7,066	7,146	流動負債	1,416	1,197
現金及び預金	3,779	4,136	支払手形及び買掛金	491	419
受取手形及び売掛金	1,068	919	未払法人税等	289	157
割賦売掛金	1,541	1,353	賞与引当金	91	95
たな卸資産	452	541	製品保証引当金	24	24
その他	227	198	返品調整引当金	27	23
貸倒引当金	△ 2	△ 3	その他	493	478
固定資産	4,714	4,581	固定負債	889	940
有形固定資産	3,395	3,431	退職給付引当金	223	219
建物及び構築物	864	887	役員退職慰労引当金	173	195
土地	2,377	2,377	預り保証金	372	388
その他	153	166	その他	120	136
無形固定資産	18	22	負債合計	2,306	2,138
投資その他の資産	1,300	1,127	<b>(純資産の部)</b>		
投資有価証券	263	402	株主資本	9,488	9,606
繰延税金資産	212	203	資本金	992	992
その他	832	528	資本剰余金	986	986
貸倒引当金	△ 7	△ 7	利益剰余金	8,138	8,107
資産合計	11,781	11,728	自己株式	△ 629	△ 480
			評価・換算差額等	△ 22	△ 26
			その他有価証券評価差額金	7	△ 7
			為替換算調整勘定	△ 29	△ 18
			少数株主持分	8	9
			純資産合計	9,475	9,589
			負債・純資産合計	11,781	11,728

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	当中間期 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	前期 平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで
売上高	4,463	8,748
売上原価	1,187	2,381
売上総利益	3,275	6,367
販売費及び一般管理費	2,700	5,504
営業利益	574	862
営業外収益	105	111
営業外費用	13	45
経常利益	666	929
特別利益	1	—
特別損失	168	3
税金等調整前 中間(当期)純利益	499	925
法人税、住民税及び事業税	274	489
法人税等調整額	△ 30	1
少数株主利益	1	4
中間(当期)純利益	256	439

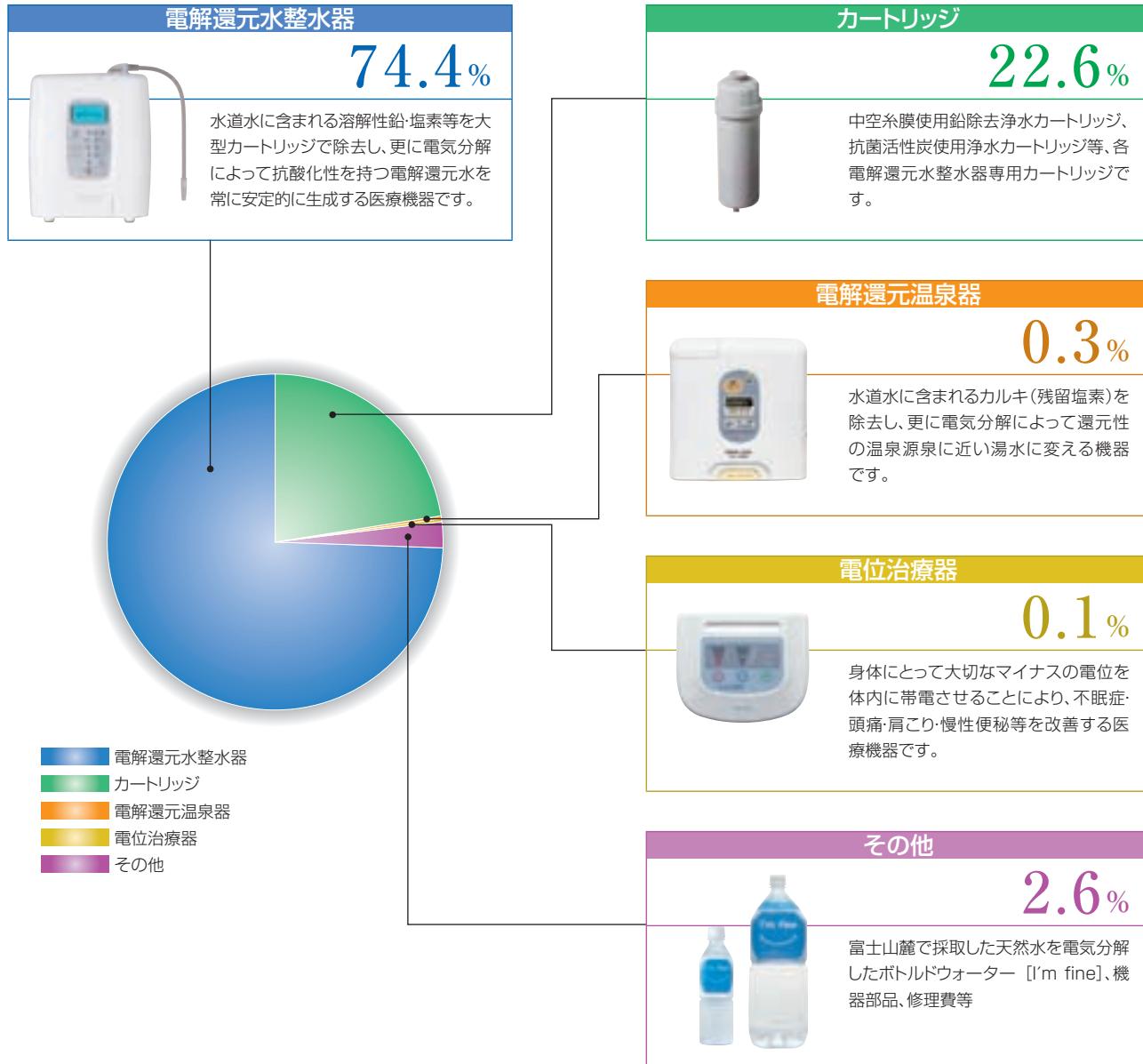
(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当中間期 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	前期 平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	319	292
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 373	△ 86
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 404	△ 425
現金及び現金同等物に 係る換算差額	1	△ 6
現金及び現金同等物の 減少額	△ 457	△ 225
現金及び現金同等物 期首残高	4,136	4,362
現金及び現金同等物 中間期末(期末)残高	3,679	4,136

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。



**日本発の技術で世界の  
オンリーワン企業を  
目指します。**

**日本トリムグループ**  
当社の既存事業である、家庭用電解還元水整水器の製造・販売事業を拡大すると共に、電解還元水の医療・予防医療分野への応用に向けた研究開発を推進、また、ボトリング事業の世界進出や、TRIMGEN CORPORATIONを中心としたバイオ分野等での事業展開により、世界のオンリーワン企業を構築してまいります。

**国内**

**株式会社日本トリム**  
設立：1982年(昭和57年)  
所在地：大阪市北区  
業種：電解還元水整水器及びカートリッジ・家庭用電位治療器等の製造販売、ボトルドウォーターの製造販売、電解還元水の研究開発

**株式会社トリムフィナンシャルサービス**  
設立：2004年(平成16年)  
所在地：大阪市北区  
業種：割賦販売業務

**株式会社トリムジン ホールディングス**  
設立：2007年(平成19年)  
所在地：東京都千代田区  
業種：持株会社

**株式会社機能水細胞分析センター**  
設立：2004年(平成16年)  
所在地：福岡市博多区  
業種：機能水科学分析

**株式会社トリムエレクトリックマシナリー**  
設立：1990年(平成2年)  
所在地：高知県南国市  
業種：電解還元水整水器及びカートリッジ・家庭用電位治療器等の製造  
ISO13485, ISO9001 認証取得

**株式会社トリム メディカル インスティテュート**  
設立：2008年(平成19年)  
所在地：宮城県仙台市  
業種：糖分解代謝物の受託測定

**株式会社トリム・オブティマル・ヘルス**  
設立：2006年(平成18年)  
所在地：東京都千代田区  
業種：健康関連商品販売会社

**株式会社GIバイオポリス**  
設立：2003年(平成15年)  
所在地：大阪府豊中市  
業種：消化管損傷修復因子の医療研究

**海外**

**TRIMGEN CORPORATION**  
設立：1999年(平成11年)  
所在地：米国メリーランド州ボルチモア  
業種：バイオテクノロジー、遺伝子診断

**PT SUPER WAHANA TEHNO**  
設立：2006年(平成18年)  
所在地：インドネシア・ジャカルタ  
業種：ボトルドウォーター製造及び販売

**広州多寧健康科技有限公司**  
設立：2005年(平成17年)  
所在地：中国広東省広州市  
業種：電解還元水整水器及び飲料水、健康関連商品の製造販売

**日本トリムネットワーク**

本社：大阪  
東京オフィス  
支社：東京・名古屋・広島・福岡  
営業所：札幌・仙台・大宮・千葉・横浜・新潟・長野・静岡・金沢・京都・岡山・山陰・松山・高知・長崎・熊本・鹿児島

株式会社トリムエレクトリックマシナリー  
株式会社トリム・オブティマル・ヘルス  
株式会社トリムジン ホールディングス  
株式会社トリム メディカル インスティテュート  
株式会社トリム・オブティマル・ヘルス  
株式会社トリム  
株式会社トリムフィナンシャルサービス  
株式会社GIバイオポリス

## 株式の状況 (平成20年9月30日現在)

発行可能株式総数	8,000,000 株
発行済株式の総数	4,442,409 株 (自己株式185,981株を除く)
株主数	3,039 名

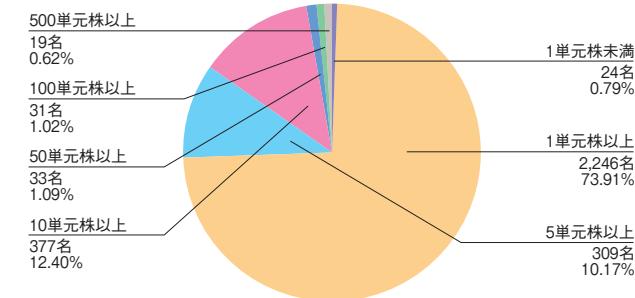
株主名	持株数
森 澤 紳 勝	1,875,290 株
野村信託銀行株式会社	312,150
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	219,700
日興シティ信託銀行株式会社	219,200
ジェーピーモルガン チェース バンク	114,900
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	106,400
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口4G)	78,000
第一生命保険相互会社	50,000
住友生命保険相互会社	50,000
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	49,450

## ■自己株式の取得状況

自己株式数 185,981株(発行済株式総数に対する割合 4.02%)

当社は会社法第165条第2項の規定により、取締役会の決議によって自己の株式を取得することができる旨を定款に定めております。これは、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行できるようにする為、自己の株式を取得することを目的とするものであります。

## ■所有単元数別株式分布状況



## 会社の概要 (平成20年9月30日現在)

商号	株式会社日本トリム NIHON TRIM CO.,LTD.
本社	大阪市北区大淀中一丁目8番34号
設立	1982年(昭和57年)6月12日
資本金	992,597千円
従業員	372名(関係会社含む)
主な事業内容	電解還元水整水器及びカートリッジ・ 家庭用電位治療器等の製造販売

## 役員 (平成20年9月30日現在)

代表取締役社長	森 澤 紳 勝
取締役副社長	須 長 英 明
専務取締役	尾 田 虎 二 郎
常務取締役	西 谷 由 実
常務取締役	三 谷 禎 秀
常勤監査役	森 澤 邦 雄
監査役	阿 田 木 実
監査役	寛 正 澄

## 株券電子化実施後の手続のお申出先について

平成21年1月5日(月曜日)から、上場会社の株券電子化が実施される予定です。これに伴い、上場会社の株券はすべて無効となり、株主様の権利は電子的に証券会社等の金融機関の口座で管理されますので、以下のとおり手続のお申出先が変更となります。

- 株券電子化後の未払配当金の支払のお申出先  
これまでどおり、株主名簿管理人にお申出ください。
- 株券電子化後の住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等のお申出先
  - 証券保管振替機構(ほふり)に株券を預けられている株主様：お取引証券会社等
  - 証券保管振替機構(ほふり)に株券を預けられていない株主様：特別口座を開設する下記口座管理機関

なお、②に該当される株主様につきましては、証券会社等のご本人様口座への振替請求を含めまして、お申出を受付けることができるのは、特別口座に記録される予定日であります平成21年1月26日(月曜日)からとなりますのでご了承ください。

## 記

- ・ 口座管理機関 東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社
- ・ 同 ご 照 会 先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号(〒168-0063)  
郵便物送付先 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
電話照会先 電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)
- ・ 同 取 次 窓 口 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店  
日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店

## 株券電子化実施前後の単元未満株式の買取請求のお取扱いについて

株券電子化制度への移行に伴い、ほふりに株券を預けられていない株主様に関しまして、以下の期間お取扱いを変更させていただきます。

単元未満株式の買取請求につきましては、平成20年12月25日(木曜日)から平成21年1月4日(日曜日)(実質平成20年12月30日(火曜日))までに受付したものの買取代金の支払は平成21年1月26日(月曜日)とさせていただきます(買取価格はご請求日の終値となります。なお、平成20年12月30日までに値が付かない場合は返却させていただきます。)。また、平成21年1月5日(月曜日)から平成21年1月25日(日曜日)までの間、単元未満株式の買取請求の受付を停止します。

なお、ほふりに株券を預けられている株主様に関しましても、株券電子化直前に単元未満株式の買取請求の取次停止期間が設けられますが、詳細はお取引証券会社等にご確認ください。